

令和 6 年度志摩市地域公共交通会議 第 1 回離島航路幹事会 議事概要

日 時 令和 6 年 6 月 28 日（水） 15 時 25 分～

場 所 志摩市消防本部 会議室

【出席委員】

名古屋大学大学院環境学研究科 教授

加藤 博和

間崎自治会 会長

下川 元三

間崎婦人会 会長

山本 くに枝

三重県立水産高等学校 校長

谷奥 茂

一般社団法人志摩市観光協会 専務理事

岡田 英美

社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 会長

前田 正典

中部運輸局三重運輸支局 鳥羽海事事務所長

中村 陽一

志摩マリンレジャー株式会社 取締役社長

矢尾 弘

三重県南部地域活性化局 次長兼南部地域振興企画課長

山本 佳子

志摩市政策推進部長

山本 和輝

事務局	それでは全体会から引き続きまして、ただいまから令和6年度第1回離島航路幹事会を開催させていただきます。着座にて失礼させていただきます。 本日は、委員合計10名のうち10名、全員の出席であり、志摩市地域公共交通会議設置要綱第4条第4項の規定に基づき、本会議が成立していますことをご報告させていただきます。 それでは議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。 【資料の確認】 【議長選任についての説明及び議長指名】
議長	先ほど前段の全体会議の中でも、少し役員変更ということでお話をさせていただきましたが、私は今回から幹事長を務めさせていただきます、政策推進部長の山本でございます。活発な議論をいただきたいと思い進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 本日、先ほど資料の説明があったと思いますが、議題としては報告事項が2点、協議事項につきましても2点ございます。以上、よろしくお願いいたします。 早速ではありますが、事項書に沿ってすすめたいと思います。まず議事1、報告事項1ということで、和具、賢島航路の現状についてということで、事務局の方から説明をよろしくお願いいたします。
事務局	はい。全体会に引き続きまして、よろしくお願いいたします。 それでは、和具、賢島航路の現状についてということで、資料につきましては1ページ資料1をご覧くださいませでしょうか。 【資料1の説明】
議長	はい。ただいま事務局から説明をいただきました。年間輸送実績とともに、今説明をさせていただいたのですが、この件にご意見ご質問がある方、いかがでしょうか。
委員A	3ページの運航実績ですが、浜島、和具航路が、3年の10月から休止しているというので、実際の比較というか、現状として対前年とか前年と比較した場合にどうなのかという懸念が少しあります。わかりづらいなというところが、事前にこの資料を見させてもらった時に少し思った次第です。

議長	はい、ありがとうございました。この件は、事務局から答えられますか。
事務局	はい。航路として、相対での収支ということで表を作成させていただいておりまして、おっしゃるように、あご湾定期航路に特化したような見え方になっていないという部分で、ご意見いただきました。申し訳ございません。 実際、こちらの収支は市の補助に基づいて記載させていただいているということです。市の方は全体の航路として補助を行っていたということで、おっしゃるように令和元年度、２年度、３年度に関しては、例えばあご湾定期航路に特化したような形の算出の仕方は難しいということで、このような記載の仕方になってございます。そのうえで、令和４年度の収支から比べますと、改善も見られているようなところで、さらに運行事業者である志摩マリンレジャーさまと協力して、航路の維持に取り組んでまいりたいと考えております。
議長	よろしいでしょうか。
委員 A	はい。
議長	他にいかがでしょう。
委員 B	鳥羽海事事務所の B です。３ページの高校生等補助実績ですが、補助を受けられた方が令和４年度から５年度、４名から１０名ということですが、住所がもしわかれば参考までに教えてほしいです。
議長	事務局、お願いできますか。
事務局	はい。市外の方が主にご利用いただいているという状況で、遠くは四日市、鈴鹿の高校生の方のご申請もあったという状況でございます。ですので、近鉄電車をご利用されて賢島まで来られて、そこから水産高校へ通われる学生さんの重要な航路になっていると、時間短縮にも航路がつながっているということで、遠方の水産高校生の方の学びを保障することには成果が出ていると捉えています。
委員 B	はい。ありがとうございます。
議長	よろしいですか。それでは、C さん。

委員C	これは、ひとの人数中心で書いてありますが、荷物の部分も入っているのかな。例えば僕は、年3回くらいしか乗らないですけど、毎週のように荷物は乗っていますので、そういう収益は入っているのかお聞きしたいです。
事務局	はい。それを示す資料としましては、41ページをご覧くださいと思います。こちらは、志摩マリンレジャーさまから頂戴しております航路の損益計算書の実績部分でございます。こちらのお手荷物運賃の欄をご確認いただくと、金額がわかろうかと思います。ただ、個数の内訳に関しては、今、マリンレジャーさまからご回答いただけるとありがたいです。
議長	お願いできますでしょうか。
委員D	この収入は、41ページを参考にさせていただければと思いますが、一番上の収益の欄、運航収益のところで旅客運賃、これは人の料金です。プラス3番目の小荷物運賃、これが荷物です。それから雑収入で40万ありますが、これは、コロナでありました雇用調整助成金、全社に対して頂いていまして、それを、要は航路オープンの時に事業の際に収入案件にしたところ、そういう雑収入も入れて収益の計で1285万4千円というような形になります。それで、純粋に運賃収入だけではないということでございます。
議長	わかりました。よろしいでしょうか。
委員C	ありがとうございました。
議長	他はいかがですか。Eさん、他に何かお気づきの点とか言ってもらえるとありがたいです。
委員E	この荷物は、大きさによって金額が違うよね？一緒？巡行船で。
委員D	キロによって違います。縦、横、高さの合計で決まります。
委員E	大きさで違うよね。それが、雑収入で入っているということ？
委員D	はい、そうです。

委員E	荷物は結構あると思うけど。間崎は、定期に載せるのが。
委員D	年間の合計がこんなもんです。
委員E	クロネコさんや、毎日たくさん荷物が来ているから。
委員C	増えているということじゃないですか。
委員E	前よりは増えているな。
委員C	今、荷物の量は、僕も毎日のようにアマゾンや楽天などで頼みますし、島外に住んでいる高齢者の方のご家族が注文したものが届く、というのが最近とても多いですね。人の利用は多分、減っていると思うんです。島民もどんどん減っていますので。荷物は逆に、若い世代でもネットでの買い物の利用というのは、増えているのではないかと思います。
委員E	歳をとっていても、ネットは買いますよ。ネットが頼りなので。
委員C	そうですね。
委員D	39ページから41ページまでの、小荷物運賃の欄を見ていただければわかると思うのですが、これが令和2年から25万9千円、45万6千円、49万5千円と増加傾向にはあります。
委員E	まあ、人口も減っているのですね。
議長	よろしいでしょうか。では、他にあれば。
委員F	よろしいですか？今の話ですが、小荷物運賃というのは、10キロまで400円、20キロまで500円、30キロまで600円。これは、アマゾンとかもその値段だということですか？そうすると、これくらいの額でさっきの40万とかだと、1000個とかそういうことですか？
委員E	人数割りでいくと、間崎の人口にしては多いよね。
委員F	旅客は、島民の方は減っているの、やや減になっている。あ、でも増だっ

	たんですね。コロナから戻るから増だったけど、外から来られる方は昨年減になった。あと、定期は増えた。それで、荷物は大きく増えているけど、額としては小さい。ということなので、乗っていただけるのが・・・。
委員E	これは重さですか？箱ではなくて。今、聞いたら10キロが400円だと。
委員D	基本的に重さです。
委員E	それでは、大きさはどのくらいまで運んでくれるのですか？10キロなら、ものすごく大きくても運んでくれるということ？
委員D	3辺なんです。3辺の合計が2メートルまで。
委員E	それは、結構な大きさ。
委員D	いや、3辺合計ですから、そんなに大きいことはないですよ。
委員E	間崎の住人はやはり、定期が頼りなので。ほとんどがもう、80や70になると免許は返して船には乗れないし。
議長	ありがとうございます。よろしいでしょうか。
委員E	はい。ありがとうございます。
議長	はい、それでは他、いかがですか？よろしいでしょうか？ それでは次の議題に移らせていただきたいと思います。続きまして報告事項2になりますが、令和5年度地域公共交通確保維持改善事業ということで、2次評価の結果を事務局から説明をお願いします。
事務局	はい。4ページをご覧くださいませでしょうか。 【資料2の説明】
議長	はい。報告事項2についてご説明させていただきました。本事項につきましては、次の協議事項であります「生活交通確保維持改善計画策定について」というところと関係がございますので、ご意見等はそちらの方で一括してお受けしたいと思います。ということで、報告事項2はこれで終了させていた

	できます。 引き続き、今度は協議事項の１ということで、議事３の生活交通確保維持改善計画（離島航路確保維持計画）の策定について事務局から説明をしてもらおうと思います。
事務局	はい、続けて説明をさせていただきます。資料に関しましては１０ページをご覧くださいませよう、お願いいたします。 【資料３の説明】
議長	ただいま、事務局の方から説明をさせていただきました。先ほど前段の、２次の評価というものを踏まえた中で今回の改善計画を立てております。この件に関しまして、先ほどの報告事案も含めてご意見、ご質問等いただければありがたいのですが、いかがでしょうか。２次評価の部分で、海事事務所の方から、何かコメント等いただければありがたいのですが。
委員Ｂ	２次評価ということで、期待する取り組みというところで、先ほど私も質問させていただきました。高校生等航路通学支援ということでお聞きしたら、四日市や鈴鹿など遠くの方も来てみえるということで、当然生徒数が増えれば遠くから通われて定期船を使う生徒数が増え、旅客も増えるということになりますので、引き続きその辺を進めていただきたいということです。あとは、離島を訪れるきっかけということで、チラシもこの資料の後半の方に載っていますがあくまで呼び水ということで、これを継続するという形で進めていっていただければ、というように思っています。
議長	どうもありがとうございました。では、この件はよろしいでしょうか。
委員Ｇ	水産高校の校長のＧです。この定期船とかは非常に利便性があるということで、水産高校も、生徒を一定数集めないと活気というか存続という部分もありますので、生徒も今までならこの辺だけだったのが、かなり広い地域に広がっています。それで、この交通の術があるということを知られていないことが多いので、周知はさせていただいています。この、期待する取組というのは私たちも心得てやっているつもりですので、お知りおきいただければと思います。以上でございます。
議長	ご意見ありがとうございます。他、よろしいでしょうか。お願いします。

委員 A	1 2 ページに、和具定期船乗り場から陸上移動を支援しますということで、今年度のデマンドの結果を受けて利便性の向上を高めますと書いてありますが、これは定期船のところまでどういう交通網であそこへの流れを作ろうという取組を考えていますか。
議長	事務局は説明いただけますか。
事務局	はい。今現在の交通の整備状況によりますと、和具の定期船乗り場で降りてから三重交通さまのバス停まで距離もあり、中々歩いていくということが大変であると、地域の声もかねてからいただいていたところもございます。そういう意味で今年度実証を行った際に、定期船乗り場をデマンド交通の停留所として設置させていただきました。そのうえで、間崎の島民の方々が本土の和具に渡った後、実際に町内のスーパーであるとか、また公共施設、金融機関へ移動するための 2 次交通的な役割を、このデマンド交通が担っていけば、ということで記載をさせていただきました。
議長	よろしいでしょうか。はい、どうぞ。
委員 F	前段の会議でも申し上げましたが、和具港まで行かれれば、このデマンド交通を使えば志摩町内全域に 2 0 0 円で行けるわけなので、すごくお得。実は、あご湾定期船の価値を非常に高める仕組みということなので、これはやっているのならどんどんアピールすべきじゃないのか、と思います。あご湾定期船の利用も増えるはずだし、そこから志摩町全域に行っていただけるので、その観光地の活性化にもつながる。御座まで行ける。三重交通さんに影響が出るくらいになるかもしれない。僕は、その影響が出るくらいやれたらいいなと思うのですが。少し趣旨が変わってくるかもしれないのですが、そういうものはとても期待させるやり方だとは思いました。
議長	ありがとうございました。前段の会議の中でも、いろいろとこの乗り合いにつきましては F 先生にご意見をいただいたので、そのあたりは改善点も含めて記載をするということで、今後の改善計画の中で我々もしっかりと取り組んでいきたいと考えております。
委員 C	今のデマンド交通のお話、本当は先ほど言えばよかったと思っているのですが。今まで 9 時のスタートだったもので、向こうに 8 時半に着くのでは、寒い時期に 3 0 分待っていなければならないというところで中々利用が進ま

	なかったのですが、志摩市さんにお伝えしたら、今度は８時半からに改善してくれたので、そこは今後利用が増えていくのではないかと感じています。それでお年寄りの方は、先ほどのデマンド交通のぶり返しになってしまうのですが、携帯電話を持っていない方もいらっしゃいます。それで、アプリとかラインとか以前の話で、携帯電話そのものを持っていないと、行く時は仮に家の固定電話から予約すると、帰りは公衆電話とか、それもやはりハードルが高いようにお話を聞いていて感じました。
委員 E	帰りはその時に、みんな何時に自分が降りたところへ迎えに来てくださいと言う。けれど私がひとつ不便に思ったのは、バスがいっぱいだとその時間に他へ行っているから、自分の希望した時間に来てもらえなくて間崎の場合は定期船に間に合わない。だから、車を増やしてほしいと思います。陸続きは時間が関係ないけど、間崎の場合は定期船を利用しないと来られないし、定期船もひとつ遅れるとだいぶ待つことになる。だから去年は私も、この会議に出ている委員なのにあまり利用しなかったというわけです。すみません。
議長	ありがとうございます。その細かい部分について、E さんに限らず他の市民の方からもあると思うので、その辺は次に活かしていえるようにお聞かせいただきたいと思います。 それでは、他にないようであれば、この資料 3－1 の生活交通確保維持改善計画の対応につきまして、ご承認いただきたいところでございますが、ご承認いただける方につきましては挙手をお願いしたいと思います。 ありがとうございます。それでは、本会議設置要綱第 4 条第 5 号の規定で地域公共交通会議の議決とさせていただきます。 続いて最後の議題になりますが、協議事項 2、交通 D X・G X による経営改善支援事業についてというところで、事務局から説明をお願いしたいと思います。
事務局	はい、失礼いたします。49 ページ、最後の資料になります。交通 D X・G X による経営改善支援事業についてということで、実は昨年度も同じ協議事項を上げさせていただいたということをご記憶されている委員の方もおられるかと思うのですが、先ほど計画の段でもありました通り、今現在、定期船で使用している船舶の高齢化というのが大きな課題となっております。そのうえで、昨年度協議をした段階で主力船の「おくしま」、そして予備船舶の「さきしま」という 3 隻中 2 隻が運行して出航状態になっていたという状況がございました。そこで、国の「交通 D X・G X による経営改善支援事業」の環境

議長	にやさしいオイルモードを作っていくという趣旨の補助金を活用させていただいて主機関を換装しまして、昨年度、おくしまの修繕完了したところです。 そして今年度に関しましては、引き続き運行停止となっております予備船舶さきしまについて、主機関および補機関について、換装事業を志摩マリレジャーさまに実施していただくということで、国に補助を改めて申請したいという趣旨でございます。49ページの事業額に関しましては、非常に高額な3500万円弱の経費がかかっているということで、それに対して国の補助を活用して1573万5000円。市も同額となる額を昨日の志摩市議会の方で補正予算が成立いたしまして、現在事業の申請を待っているという状況でございます。志摩マリレジャーさまには消費税分をご負担いただくという流れになっております。最後50ページとなりますが、実施スケジュールに関しましては、国の補助金の交付決定が下り次第、マリレジャーさまの方で事業実施をしていただくという流れで、年明け令和7年2月に、さきしまの復帰を目指して取り組むという内容となっております。 その下、定期船の状況でございます。いちばん右のさきしま、現在運行停止中となっております。左のおくしまに関しては、現在復帰をしている状況ではございますが、やはり航路を維持していくうえで、当初の3隻体制を維持していくということが非常に大切であると捉えております。そのうえで、本市としましては5月30日には中部運輸局さま、さらに5月31日には橋爪市長自ら国土交通省海事局の方にお伺いして要望活動を行わせていただきました。こちらは、制度の維持継続とともに、離島航路の支援拡充ということについて要望活動を行わせていただいたという状況です。やはり、離島航路は命の綱というところで、本市としてもしっかりと確保維持の取組を進めていきたいと考えております。以上です。 先ほど事務局がご説明をしたわけですが、この案件につきましては、平素から志摩マリレジャーさまに、あご湾航路確保ということでご支援をいただいております。感謝申し上げます。 そして、市長が5月末に直接、国土交通省の方に行ってまいりました。私も随行で坂井課長とともに行きまして、今回そういう要望活動をするのは初めてになりますが、やはり地域の実情を知ってもらうということは非常に大事なことだと思っております。また機会をみて、あご湾航路確保ということに向けては国の要望活動をいうものを続けてまいりたいと考えております。 少し前置きが長くなりまして申し訳ございません。ただいまの事務局の説明の中で、ご意見、ご質問等いただければ・・・。
----	---

委員E	よろしいですか。
議長	はい、どうぞ。
委員E	船を維持してくれるのはいいけれど、今、「おくしま」も「おおさき」も全く冷房が効いてないです。それはもう、ずいぶん前から。風があると波が入るし、今は梅雨だから、扉が開けられない。「おおさき」は家庭用のクーラーが後ろについているけど、前が暑い。湿度も気温も高くて、間崎は80代の人が多いのに、こんな状態では乗ってはいられないです。今年はマリンレジャーさんも考えて、こういう船のことをしてくれるのはありがたいですけど、一番には人が乗って快適にしてほしいです。今はクーラーが効いてない乗り物はないと思いますよ。
議長	はい、ありがとうございます。マリンレジャーさんも航路確保していただく中でいろいろと苦慮されているところで、やはり我々一緒になって乗っていただく方の利便性などのお話をしていかななくてはならないということになりますので、この件は引き続き、今後させていただくという形に・・・。
委員E	なるべく早くしてほしいですね。暖房の方は、寒くてもまだ我慢できるけど、冷房がないのはもう乗ってはいられない。「おくしま」も「おおさき」も、前からクーラーが悪いのに、未だにこの暑さになってきてもやってくれないのかと思って。
委員D	既存の冷房ユニットは、壊れて使えなくなっています。これを交換しようと思ったら、現状積めるものがないです。発電機から全部変えないといけませんので。
委員E	でも、やはり人が・・・。
委員D	それで、代わるものとして家庭用のエアコンで馬力の大きいものをつけさせていただきました。 まず「おくしま」につきましては、この春に冷房の故障が突然起きました。それで、その直後に発注をかけたんですが、シーズンであるということと、施工できる業者が限られていますので、未だに入ってきていません。そこで「おおさき」がまだ冷房が入っているので「おおさき」を使う形でこの夏の運航をしていましたが、実は「おおさき」が、エンジンとクラッチを繋ぐ接続部

	分、それからエンジンのラジエーターへ海水を送る海水ポンプの不具合が出て故障、修理をしていました。そこでその間、「おくしま」の冷房が効いていないのはわかっていたましたが、動かせる船が「おくしま」しかなかったのでそちらを入れていました。一昨日の夕方、「おおさき」が直ってきましたので、「おおさき」を入れて「おくしま」を外し、外した「おくしま」に対して業者の手配がつき次第、冷房の修理を行うというスケジュールになっています。
議長	はい、ありがとうございます。
委員E	おっしゃるのはわかりますけど、もともと「おくしま」はクーラーが効いていませんでしたよ。
委員D	故障しているとは聞いていませんでした。この度故障したというのは聞きました。
議長	先へ進めさせていただいてよろしいでしょうか。マリンレジャーさんも、ご苦労しながらそのあたりは考えていただいているところだと思うので、またいろいろ話も聞かせていただいてと思います。 他、この件でご質問等よろしいでしょうか。
委員B	ひとついいですか。
議長	はい、どうぞ。
委員B	昨年、「おくしま」のエンジンを換装されて、これの耐用年数は何年くらいになるのか教えていただけますか。
委員D	法定耐用年数は7年で法定はそうですけども、実際の耐用年数はもっと長いです。
委員B	そうですか。それまでは少なくとも、運航はお約束いただけると安心していいものかどうか、いつまで運航してくれるかというその辺を考えながら、僕らも毎日過ごしています。
議長	もちろん我々も、この「あご湾航路」を維持していくというのはとても大事なことだと思っていますので、マリンレジャーさんとは引き続き航路の話

	をしていなくてはならないと思っています。よろしくお願いします。
委員D	よろしくお願いします。 収支関係でいうと、志摩市さんの方で昨年度から県と同等の基準で補助を出すという形で意思決定をいただきました。先ほどの補助金を加えた後の差し引き収支のところ、赤字が出ないような構造を作っていただきましたので、ある程度その辺につきましては、事業継続ができる大きな要因が整ったということで考えています。
議長	それではこれで、この件は他によろしいでしょうか。 それでは、資料4の「交通DX・GXによる経営改善支援事業について」国庫補助金を活用して「さきしま」の機関換装を実施するということでご承認をいただける方につきましては挙手をお願いします。ありがとうございます。それでは、今回の設置要綱第4条第5号の規定によりまして、地域公共交通会議の議決とさせていただきます。 本当に活発なたくさんのご意見をいただきましてありがとうございます。本日の協議事項につきましては、以上となります。 議事その他につきましては、事務局から何か報告事項等あればお願いします。
事務局	特にございません。
議長	わかりました。それでは本当に長時間、前段の会議から続きましてありがとうございます。
委員F	1点だけ、聞いてもいいですか。木村拓哉が出ていた番組で、志摩大橋（パールブリッジ）が取り上げられていましたけど、なにか影響はありましたか。
委員D	特に何も聞いてないですが。
委員F	ドラマも先週終わって、僕も、結構後半になってあの橋に気づいたのですが、ご本人もロケに来ていたのですね。あの橋が落ちるといのはあまり縁起がよくないですけど、少しくらいホームページに書くとかいうことはやっていないのですか。
事務局	観光面でのPRは、観光コンベンション機構というフィルムコミッション機構があり、そこにやってもらっています。やはり、ファンの方などが結構

	撮影にこられたりしているので、今後もしかするとPRによっては、ということ。
委員F	ちょうど最終回が終わったところなので、できるかなと思いました。
事務局	そうですね。ありがとうございます。
議長	それでは、以上をもちまして、志摩市地域公共交通会議第1回離島航路幹事会を終了させていただきたいと思います。本当に長時間ありがとうございました。
一同	ありがとうございました。